

清水小 校長室だより No.35

2020. 1. 23(木) 文責：筒井

冬が来た

高村 光太郎

きっぱりと冬が来た
八つ手の白い花も消え
公孫樹の木も 簾 になった

きりきりともみ込むような冬が来た
人にいやがられる冬
草木に背かれ、
虫類に逃げられる冬が来た

冬よ
僕に來い、僕に來い
僕は冬の力、冬は僕の餌食だ

しみ透れ、つきぬけ
火事を出せ、雪で埋めろ
刃物のような冬が来た



今年は温かい冬ですが、冬の寒さを感じると、高村光太郎の詩が頭に浮かんできます。

光太郎は「冬の詩人」と呼ばれるほど冬の詩を多く作っています。『冬が来た』『冬の詩』『冬の送別』『冬の奴』『冬の言葉』等、詩情のある季節といえは春や秋ですが、あえて生命活動の沈んだ冬にこだわったのが彼の特異な世界です。

冬の厳しさ、すべてをむき出しにして飾り物を許さないところ、冷たい北風が吹いて、身が引き締まる。あの独特の緊張感が心を捉えます。

草は枯れ、虫類は活動を止める冬。そんな厳しい時を歓迎し、困難に挑戦するぞという力強さが好きです。冬は心身を鍛える！絶好の季節です。

高村 光太郎 (1883-1956) 彫刻家・詩人
東京生まれ。本名光太郎(みつたろう)。

彫刻家高村光雲を父に持ち、自らも彫刻の道を志す。偉大すぎる父への反抗心から23歳で渡米。ニューヨークで1年の留学生生活を過ごした後、ロンドン、パリへと移り住み26歳で帰国。古臭い日本の美術界に反発し新美術の世界に没頭する。

1914年、詩集『道程』を出版。同年智恵子との結婚生活が始まる。1938年、長い闘病生活の後に死別。

1941年、詩集『智恵子抄』を刊行。その頃、戦争賛美の詩を多く発表した自責の念から、岩手県花巻町に粗末な小屋を建て、約7年間独居生活を送る。

1952年東京都中野区のアトリエに転居。73歳没。
代表作「智恵子抄」「道程」「をぢさんの詩」他

もう菜の花が・・・春も近い

朝から雨です。週間の天気予報はずっと☂マークがついて、☀マークがありません。インフルエンザは、先週ほどではないですが、今日もまだ11人の子どもがインフルエンザで欠席しています。

この頃は、夜の明けるのがどんどん早くなり、日没も遅くなっているのを実感します。

今年は正月から暖冬が続いています。でも寒さはこれからが本番です。一度ぐらい清水にも雪が降って、積もって欲しいなあと願っていますが・・・

昨日、4年生の笑子さんが、菜の花を持ってきてくれました。今年初触れの菜の花です。笑子さん姉妹はいつも花を持ってきてくれます。感謝！

Good-bye！はやとくん

今学期初めからオーストラリアのシドニーから短期体験入学に来ていたはやと君が、昨日で終わり、今日オーストラリアに帰りました。



期間中は、1年2組の教室で過ごしましたが、どこにいるか分からないくらい、なじんでいました。しっかり勉強もできたし、休み時間には、運動場で友だちとかけまわっていました。とっても楽しかったと話してくれました。来年も来てくれるといいですね。

【オーストラリア】がどこにあるかわかるかな？

地球の南半球にあります。日本は北半球にあるので、日本とは季節が逆になり、今は夏です。

はやと君は現地の小学校に通っているようですが、夏休みを利用して日本に帰っていたのです。

オーストラリアは、6つの州と1つの準州、首都特別区から成り立つ世界唯一の大陸国家です。

面積は日本の約20倍もありますが、人口は日本の5分の1くらいです。

首都はキャンベラ。元はイギリスの植民地で、当時栄えていたシドニーと独立後首都となったメルボルンの間で、首都の争奪戦が起こり、結果その中間にあるキャンベラを首都とすることで決着したという歴史があります。

世界最古の大陸と言われるオーストラリアは、数多くの生き物が生息しています。コアラやカンガルーなどは、特に有名ですね。

注意！旧公民館跡地を工事中です

先日から、学校南側の旧公民館跡地を駐車場にする工事が始まっています。

安全に気をつけて、ご協力をお願いします。

■工事終了予定 3月13日(金)

■工事時間 8:30~17:00